

# 令和4年度(第44期)事業計画書

## I. 基本方針

### ○当協会の現状と新たな視点

当協会は近年、巡回健診を基盤としながら新健診施設・クリニックの開設など事業の拡大によって多種多様な健康ニーズに対応し、予防医学の価値を高めてきました。こうした取り組みから当協会の社会的な認知度が高まり、新規に健診の申し込みされる企業や人間ドック・特定健診などの受診者が増加傾向にあります。行政等からの要請にも応え、新型コロナウイルスの職場や地域のワクチン接種の取り組みに貢献しています。

### ○経営の課題と働き方改革

当協会は今後も変化する健康ニーズを見極め、課題解決を進めながら絶えず時代の新たな価値を創出し、社会的な役割・責任を果たしていかなければなりません。当面の経営課題としてはこれまでの投資の償却に加えて、IT システム・医療機器の更新、施設の機能アップなどこれからも設備投資額の増加が見込まれ、健全経営に必要な収益を確保し、持続的可能な成長を目指さなければなりません。

また、繁忙期と閑散期の年間収支の平準化が喫緊の課題であります。このことが現場関係者の繁忙期の労働負担となっていることを懸念しています。年間業務の平準化を図るにはライフスタイルに合った多様な働き方の環境づくりから業務のマニュアル化による属人化の解消など職場体制の転換を図らなければなりません。

### ○イノベーションの活用と働き方改革

今年度の経営方針として、昨年度の経営方針として掲げた「働き方改革」への課題解決と同時並行的にイノベーションの活用による時代の進化に対応できる組織改革の潮流をつくることにあります。イノベーションの活用の意義は「働き方改革の実現」、「業務効率化」、「顧客満足度の向上」を図ることなどにあります。それらを令和4年度に更新予定の新健診システムの導入企画に盛り込んで、「働き方改革」の実施計画をつくる重要な年度であります。このプロジェクトに経営層、業務部門、IT 部門が参加して、ニーズを集約しシステム構築を進めます。

### ○今年度のスローガン

この様な方針からスローガンを『イノベーションを活用し 働き方改革を進め 働きがいのある職場にしよう』とし、IT 基盤の活用と BSC(バランススコアカード)手法による業務プロセス改善を推進し、時代の進化に対応できるようビジネスモデルの価値を高め、受診者にも役立つ DX(デジタルトランスフォーメーション)推進への足掛かりのステップとします。

## ○ウェルビーイングの向上

富山県は重要政策として“県民の幸福度を高める「ウェルビーイング推進課」”を新設しました。当協会では健康面からこの政策に沿った健康診断事業、健康保持増進事業、メンタルサポート事業を進めていきます。また、個と組織の両面から職場環境を整えるとともに個々の成長が感じられる企業運営を目指したいものであります。

## II. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

事業場における労働者の健康保持増進及び職業性疾病の予防、労働衛生管理の普及、地域住民及び学校の保健衛生の向上のため、法令等に基づく健康診断や健康指導等の結果を疾病予防のための疫学的研究に活用し、学会等を通じた情報提供を行います。

1. 調査研究	(1) 事業年報の発行
	(2) 調査研究の推進
2. 普及啓発	(1) 健康教育活動
	(2) 普及啓発活動
	(3) THP の推進
	(4) その他

## III. 予防医療事業(他1事業)

定期健康診断やがん検診などの巡回健診を中心に、労働衛生機関として働く世代の利便性と精度の高い健診を提供します。第三者機能評価をベースに健診実施に関する品質指針に基づき、内部精度管理・外部精度管理の適切な実施のため、知識及び技能研修受講を推進します。また、とやま健診プラザでは、併設のクリニックを活用したオンライン診療の導入など、健康診断で要受診判定を受けた受診者が医療機関を受診しやすい環境を整えることができるように拡充させていく予定です。

1. 労働健診
2. 生活習慣病予防健診
3. 住民・学校健診等
4. 施設健診(人間ドック含む)
5. その他検査等
6. クリニック

#### IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

事業所等のニーズに応え、医師や保健師、メンタルスタッフなどの産業保健スタッフが行う健康教育や保健指導などで、オンライン運用を引き続き実施します。また、特定保健指導業務の拡大に対応するため、スタッフ部門の提供体制を見直し、サービスの量と質の改善に取り組みます。

メンタルヘルス分野では、ストレスチェックサービスの利用事業所が増加傾向であることに伴いサービス効率化に努めます。また、中小事業場の「健康経営」の推進のため、健康データを活用し、集団分析などのサービス向上に努めます。

1. 特定保健指導
2. その他の保健指導
3. 健康教育
4. メンタルヘルス

#### V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

- ・QOL 会員の増加に向けての取り組み
- ・フレイル予防事業の推進
- ・角川ミニジム脚カトレの普及
- ・自立神経機能検査
- ・フェルデンクライスマソッド
- ・角川オンライン健康教室
- ・医療との連携による運動指導
- ・気候療法ウォーキング
- ・イベントの充実
- ・集客営業活動の強化

1. 指定管理事業
2. 自主事業

#### VI. 職員数計画

区 分	令和4年度目標	令和3年度目標
医師	16名	15名
医師(非常勤)	17名	16名
看護師	70名	69名
診療放射線技師	31名	30名

臨床検査技師	34名	33名
保健師	16名	15名
管理栄養士	4名	4名
運動指導員	8名	8名
心理相談員	4名	4名
運転業務員	17名	16名
事務員(健診補助員含む)	71名	70名
計	288名	280名

## VII. 理事会・評議員会の開催

### ○理事会

第1回	令和4年5月	計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認、代表理事及び業務執行理事の選定、評議員会の招集の決定
第2回	令和5年3月	収支予算、事業計画、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認

### ○評議員会

第1回	令和4年6月	計算書類・事業報告、公益目的事業計画実施報告の承認、理事及び監事の選任、その他報告事項
-----	--------	---